

も佛にならず。法華は佛になりがたき者すら尙佛になりぬ。佛になりやすき者は云にや及ぶと云道理立ぬれば、法華經をとかれて後は諸經にをもむく人一人もあるべからず。而に正像二千年すぎて末法に入て當世の衆生の成佛往生のとげがたき事は、在世の二乘闡提等にも百千萬億倍すぎたる衆生の、觀經等の四十餘年の經々に値て生死をはなれんと思はいか。はかなしはかなし。女人は在世正像末總じて一切の

諸佛の一切經の中に法華經をはなれて佛になるべからざる事を、靈山の聽衆として道場開悟し給へる天台智者大師定て云、他經但記男不記女、今經皆記等云云。釋迦

如來多寶佛十方諸佛の御前にして、摩竭提國王舍城の良、靈鷲山と申所にて、八箇年の間説給し法華經を智者大師まのあたり聞しめしけるに、我五十年の一代聖教を説く事は皆衆生利益のためなり。但し其中に四十二年の經々には女人佛になるべからずと説き、今法華經にして女人成佛をとくとなのらせ給しを、佛滅後一千五百餘年に當て靈鷲山より東北十萬八千里の山海をへだて、摩訶尸那と申國あり。震旦國是也。此國に佛の御使として出世し給ひ、天台智者大師となのりて女人は法華經をはなれて佛になるべからずと定させ給ぬ。尸那國より三千里をへだて、東方に國あり、